

[令和7年度事務事業]

I. 基本情報							
事業の位置付け							
1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
			有	取組の方向性	①危機対応力の強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025		無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b
			有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進		
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			— 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度	
4	実施根拠			消防組織法、消防力の整備指針、堺市消防機械器具管理整備規程			
事業の概要							
5	事業の実施主体			本庁			
6	事業の対象			対象施設：消防施設整備 対象数：車両219台（非緊急車両含む）、消防艇 1 艇、小型動力ポンプ42台	対象数	単位	
					262	台（艇）	
7	事業の目的			消防車両等の計画的な更新等により、消防力の充実及び強化を図る。			
8	事業内容			経過年数、走行距離及び災害対応能力の強化の必要性を勘案し、更新及び増強対象となる消防車両等を抽出。 庁内委員会に諮り更新及び増強車両を決定する。 【令和7年度実績】 水槽付消防ポンプ自動車 2台、救助工作車 1台、指揮隊車 1台 資機材搬送車 1台、消防ポンプ自動車 1台、災害対応多目的車 2台 大型水槽車 1台、救急自動車 4台、査察車 1台、人員搬送車 1台 小型動力ポンプ 3台			
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先						
10	公民連携・協働事業						

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	消防力の整備指針に基づく車両の整備 （消防車両配置台数）	台		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	92	96	96	96
			実績値	92	94		
			達成率	100%	98%		
当該指標を選定した理由	消防力の充実及び強化を図る際に、消防力の整備指針に基づく車両の整備がひとつの指標となるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	消防力の整備指針						
12	活動指標	単位		実績		目標	
	消防車両等整備（更新及び増強台数）	台		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	12	17	19	
			実績値	12	17		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	消防力の充実及び強化を図る際に、消防車両等の整備数がひとつの指標となるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	各車両の更新時期に応じた更新						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	消防車両等整備事業	事業番号	090-013
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	361,206	381,157	873,415	783,435	887,376
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	10,454	45,500	60,974	52,814	52,814
	市債	348,700	323,100	773,800	690,200	799,400
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	2,052	12,557	38,641	40,421	35,162
14	人件費（b）	0	16,200	16,800	16,800	17,400
15	年間経費（c）=(a)+(b)	361,206	397,357	890,215	800,235	904,776

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	自動車購入費	R7	決算	771,188	39,474		R7	決算		
		R8	予算	873,592	33,578		R8	予算		
	役務費・公課費	R7	決算	859	859		R7	決算		
		R8	予算	1,544	1,544		R8	予算		
	災害用備品購入費	R7	決算	11,388	88		R7	決算		
		R8	予算	12,240	40		R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	決算				R7	決算		
		R8	予算				R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 消防車両等整備数	台	12	17
	② 上記①にかかる年間経費	千円	331,528	722,385
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	27,627,333	42,493,235
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	長期的な計画を策定していることにより、安定した更新につながっているため、今後も引き続き計画的に更新等を実施していく必要がある。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	消防は人員と消防車両等を活用して災害対応を行うため、老朽化した車両等を最新の車両等に更新することにより、機能強化が図られ、消防力の強化につながる。また、今後も事業を効果的に実施することにより、災害対応能力の強化が図られ、市民の生命、身体、財産を保護することができる。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	老朽化した車両等の更新については、消防の使命でもあり、必要不可欠であり、事業内容については、堺市民の生命、身体、財産を保護するために必要な検討を毎年度実施したうえで、事業実施しており、今後も必要な事業である。
	有効性	■ 高い □ 低い	